



大通り (昭和27年ごろ)

大通りの南側歩道から東の馬場町方面を撮影した写真の今昔。

昔の写真の大通りは、幅18メートルでした。昭和27年度から始まった拡張工事により、昭和33年にはJR宇都宮駅から池上町交差点までの幅員が30メートルになり、道路中央には、分離帯が設けられました。

昔の写真の左側に見える書店の場所には、現在、TDビルが建っています。

左奥に見える4階建てのビルは、栃木相互銀行本店（現栃木銀行）でした。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

ワイン界の至宝
日本唯一のマスター・オブ・ワイン

山仁酒店 大橋 健一さん



「合格の知らせを聞いたときはしばらく震えが止まりませんでした」と喜びを振り返る大橋さん。昨年9月、英国ロンドンのマスター・オブ・ワイン協会が認定する「マスター・オブ・ワイン」の称号を国内在住の日本人として初めて取得しました。ワインに関する資格のうち、最高峰かつ最難関で大橋さんによると「宇宙に行ったことのある人数よりも少ない」という世界的栄誉です。

これまで、国内のソムリエ協会主催のコンクールで優勝したり、ワインに関する著書を多数執筆したりするなど、実績十分の大橋さんでしたが、「ワインの世界では日本は後進国。日本の評価を変えたい」との思いで、マスター・オブ・ワインへの挑戦を決意しました。試験は、筆記と実技（テ

イスティング）、論文からなり、マーケティング・ブドウの栽培方法・為替・国際問題など、ワインに関する幅広くかつ専門的な知識と分析力が問われます。「今までに経験したことのない苦労だった」と語るほどの努力を重ね、合格を勝ち取りました。

昨年12月に宇都宮愉快市民に就任した大橋さん。「自分が世界で活動することが、宇都宮を盛り上げることにつながればうれしい」と話します。宇都宮が生んだ日本のワイン界の至宝は、今日も世界を舞台に活躍を続けています。